

理想の瑞浪市にするための市民参加。協働の考え方について

生活しやすい

情報の共有

各種団体の活動内容をすぐ知ることが出来る	自分の興味がある活動に参加できる
SNSの活用 毎月のあらゆる行事を一覧表にして見やすくする (行政に限らず民間の行事も)	市民の意見の反映の「見える化」

人口減少対策

市内の企業に市民が優先して就業できる体制があれば…。 →市外に行かないかも	子ども自慢大会的なもの →親と子どもが交流 →大賞には何かあげる
交通弱者の足の共有化 NPOとか	婚活寮

誰でも社会参加できる場所

いつも誰かおもしろそうな人・事がある施設がある
気軽に集まれる施設がある 市民活動支援センター 若者が作りあげるまちづくり組織の創設

市民が主役  
市民が参加

〇〇の日を作る (みんな参加しよう)	取りあえず強制でも参加させる (裁判人制度 ex)
市民参加ができるように～ 例えば七夕まつりもハサラだけでなく区民参加型の行列などで参加をはかる	

窓口の一本化

行政の規則をゆるめる すぐやる課 (窓口の一本化)	
市民からの提案に対して行政がすぐに動く	「これをやると市民一人これだけ費用がかかりますよ」という評価

駅前通りの活気

駅周辺に〇〇街を作る	空き店舗を利用する場合に市が補助を出す
日替わりショップ	市民のほしい事業(サービス)をやってもらう組織づくり 公募、NPO
市民のほしいお店募集 →だれが	

定期的な(誰でも参加する)協働事業会議の開催
市民の役割分担
事業仕分
地域特有のルール作り

顔見知り・知り合いからの呼びかけ	仕事・経済的に余裕があると「家」以外に目を向ける心がうまれる
------------------	--------------------------------

ボランティアに対する恩恵制度	行事に参加するとポイントがもらえて地域通貨として使える
----------------	-----------------------------